

**FUJITSU RFID・センサーソリューション  
カウンターセンサースリム  
TFU-RW811A**

(USB接続 920MHz帯RFIDリーダライタ)  
(特定小電力仕様)

**ドライバインストール手順書**

1.2 版 2024/08/21

富士通フロンテック株式会社

## 変更履歴

| 版数  | 変更日        | 内容                                        |
|-----|------------|-------------------------------------------|
| 1.0 | 2016/12/06 | 初版                                        |
| 1.1 | 2017/03/02 | P.14,15: 誤記訂正<br>ドライバインストール後の動作確認時のパス名修正。 |
| 1.2 | 2024/08/21 | P.4, 5: 対応 OS に Windows11 を追加             |
|     |            |                                           |

## 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. はじめに.....              | 4  |
| 2. リーダライタの認識確認 .....      | 6  |
| 3. ドライバインストール.....        | 12 |
| 4. ドライバインストール後の動作確認 ..... | 14 |
| 5. その他.....               | 15 |

## 1. はじめに

本書は、カウンターセンサースリム（以降、リーダーライタと記載）のドライバインストールについて記述しています。

本書での表記について

### ■ 画面例およびイラスト

本書に掲載されている画面およびイラストは一例です。お使いの環境によって若干異なることがあります。

### ■ 商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

そのほか、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。また、本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

#### (1) 対応OS

Windows 7, 8, 8.1, 10, 11 Professional 32bit/64bit 日本語版

#### (2) 対応機種

TFU-RW811A

#### (3) その他注意事項

- 1) PC 1 台に複数のカウンターセンサースリムを接続した場合の動作はサポートしていません。
- 2) 本装置は、「ヒューマン インターフェース デバイス」(HID デバイス)として Windows に認識されます。
- 3) ドライバインストールを行うと、本装置用の動作確認ツールのインストールも合わせて行われます。
- 4) 操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が出た場合は、「はい」をクリックします。
- 5) 説明文中の画面は Windows 7 (32bit 版) の場合の例です。
- 6) Windows の「デバイスマネージャー」は、以下方法で起動できます。

※Windows 7 の場合：

画面左下のスタートメニューを左クリックし、一覧の「コントロールパネル」をクリックします。一覧が表示されるので、その中の「デバイスマネージャー」をクリックして起動します。なお、「コントロールパネル」に「デバイスマネージャー」が見つからない場合は、「ハードウェアとサウンド」をクリックして探してください。

※Windows 8, 8.1, 10, 11 の場合：

[Windows ロゴ]キーを押しながら「X」キーを押し、一覧の「デバイスマネージャー」をクリックします。

7) Windows の「エクスプローラー」は、以下方法で起動できます。

[Windows ロゴ]キーを押しながら、[E]キーを押します。

8) インストールする PC の Windows が 32bit 版か 64bit 版か判別する方法

※Windows 7 の場合：

画面左下のスタートメニューを左クリックし、一覧の「コンピュータ」を右クリックし、プロパティをクリックします。表示された「システム」欄の「システムの種類」欄を確認します。

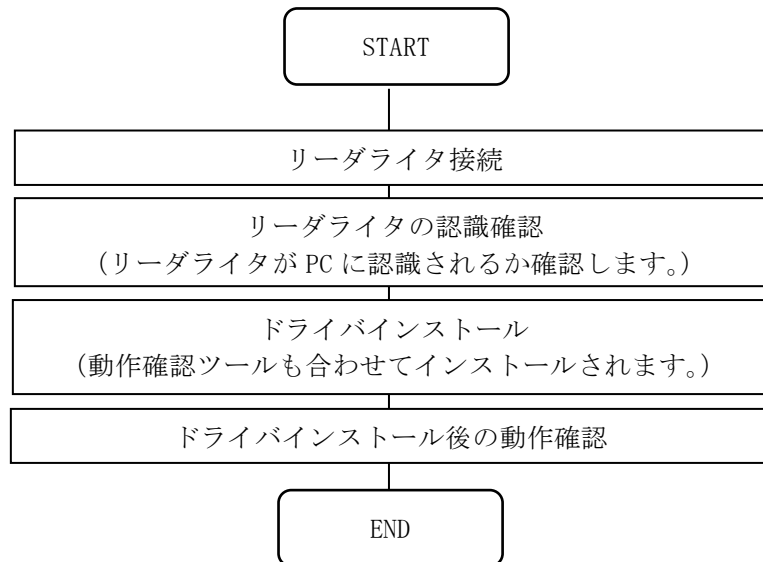
※Windows 8, 8.1, 10, 11 の場合：

[Windows ロゴ]キーを押しながら「X」キーを押し、一覧の「システム」をクリックします。表示された「システム」欄の「システムの種類」欄を確認します。

注) 「システムの種類」欄の見方

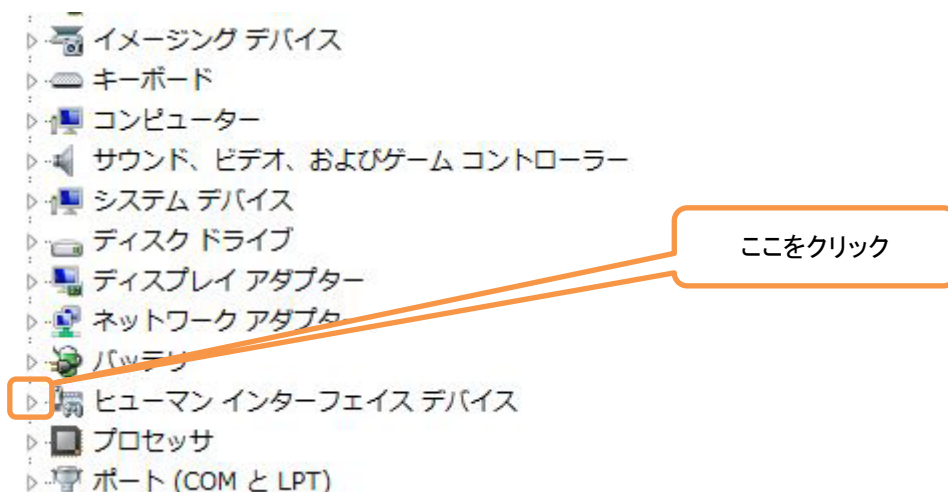
- ・「32 ビット オペレーティング システム」と表示されていれば、32bit 版
- ・「64 ビット オペレーティング システム」と表示されていれば、64bit 版

#### (4) 手順概要

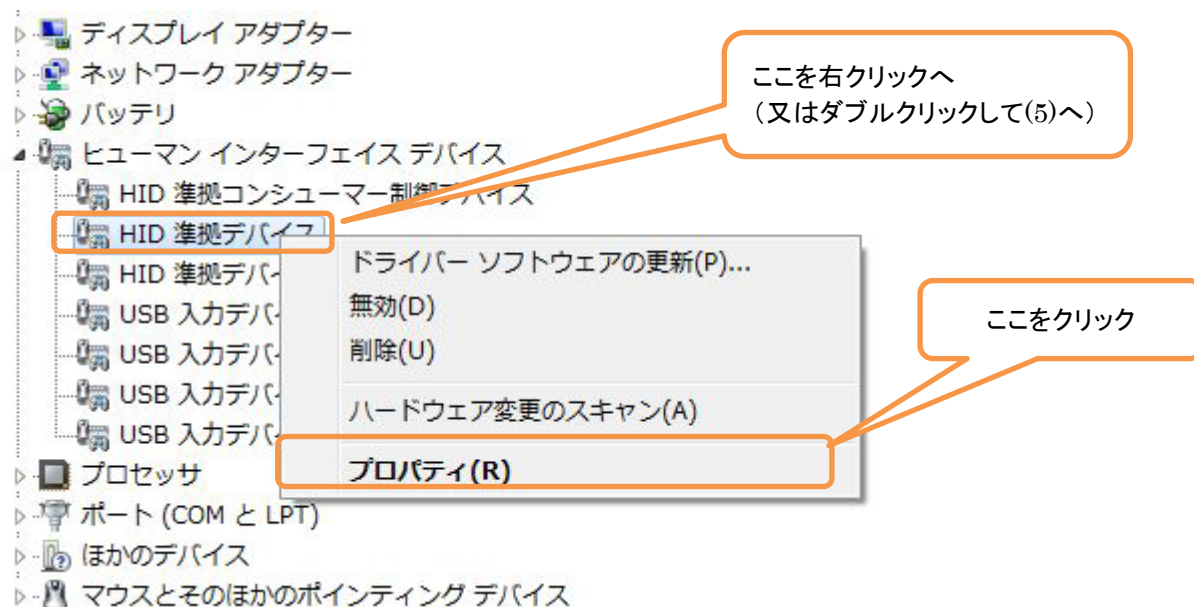


## 2. リーダライタの認識確認

- (1) リーダライタの USB ケーブルを、PC 又は、PC に接続した USB ハブに接続してください。  
注) USB ハブを使用する場合は、セルフパワー（電源付）のものをご使用ください。
- (2) 「デバイスマネージャー」を起動します。
- (3) 「ヒューマン インターフェイス デバイス」の左端三角印をクリックし、展開します。

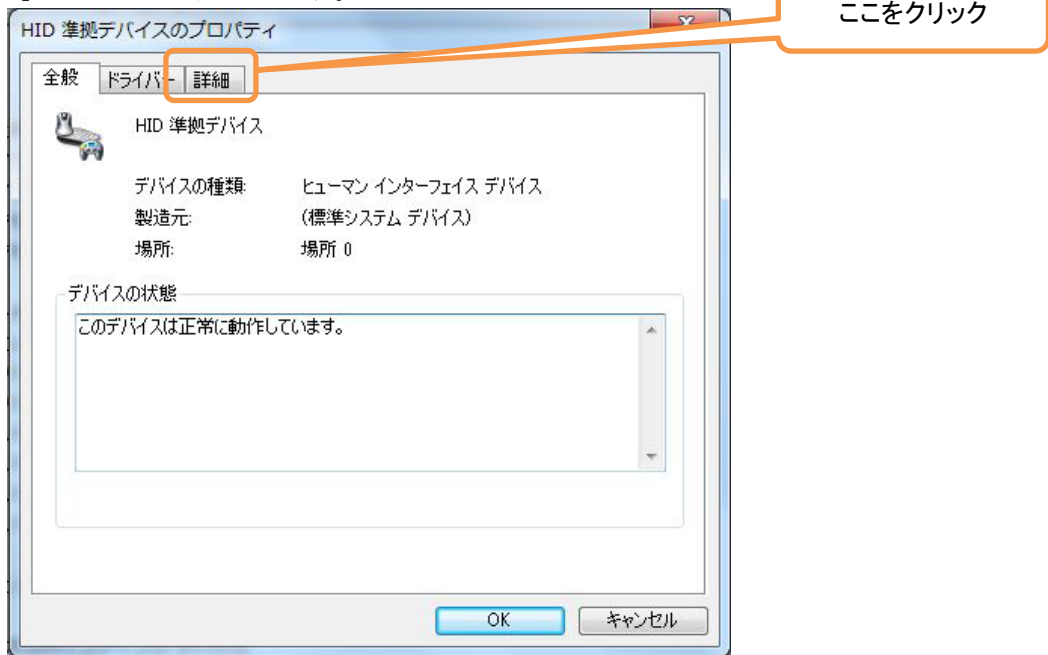


- (4) 「HID 準拠デバイス」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。（「HID 準拠デバイス」が複数ある場合は、上から順にクリックします。）

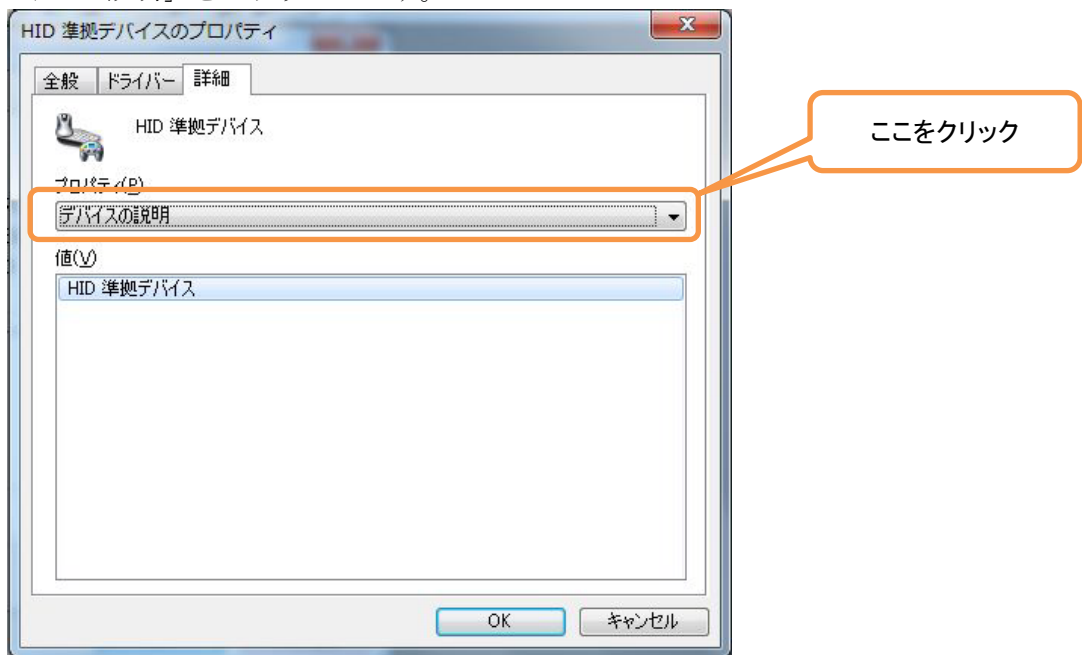


- 注1) 「HID 準拠デバイス」は、「HID ベンダー定義デバイス」と表示される場合もあります。
- 注2) USB コネクタの抜き差しを行わないのに、上記デバイスマネージャーの画面にていずれかのデバイス表示が一瞬消える（又は画面がチラつく）場合は、PC の USB ポート又はリーダーライタのハードウェアが異常です。PC の他の USB ポートに差しても状況に変化がなければ、PC 又はリーダーライタを交換してください。

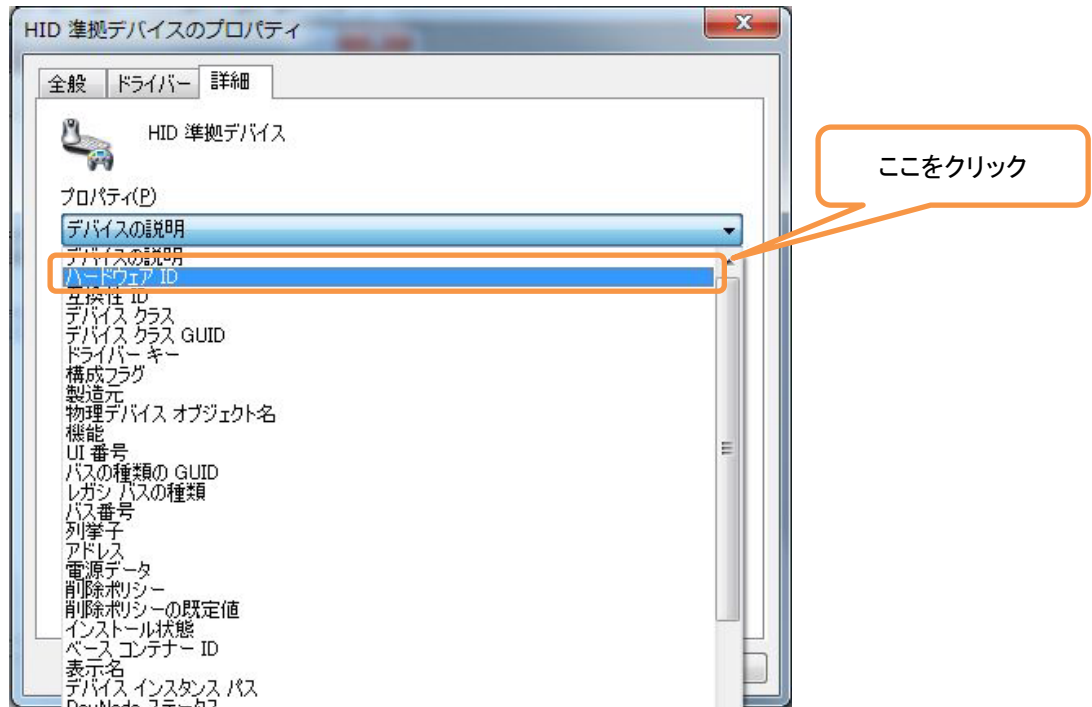
(5) 「詳細」 タグをクリックします。



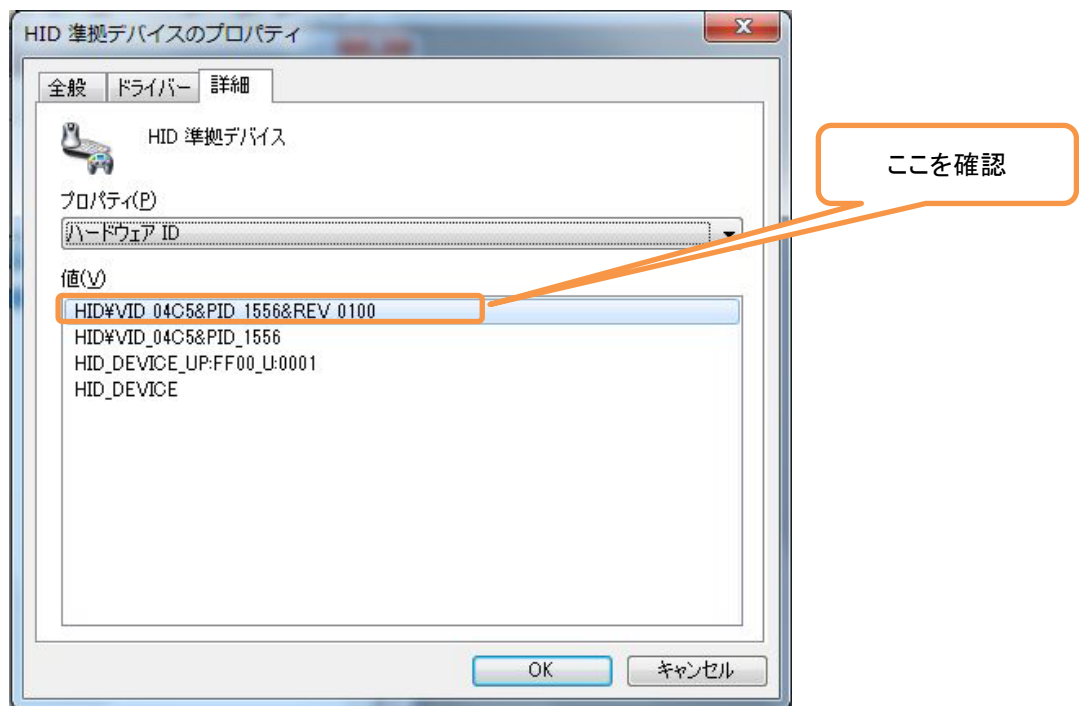
(6) 「デバイスの説明」をクリックします。



(7) 「ハードウェア ID」 をクリックします。



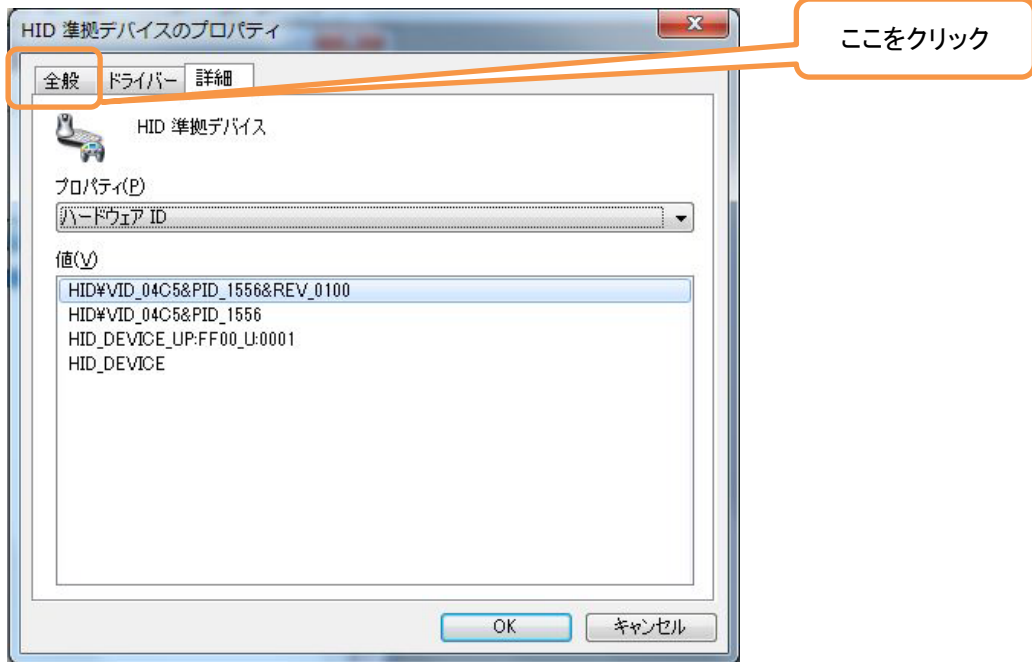
(8) 「ハードウェア ID」 に、「VID\_04C5&PID\_1556」の文言が含まれているか確認します。



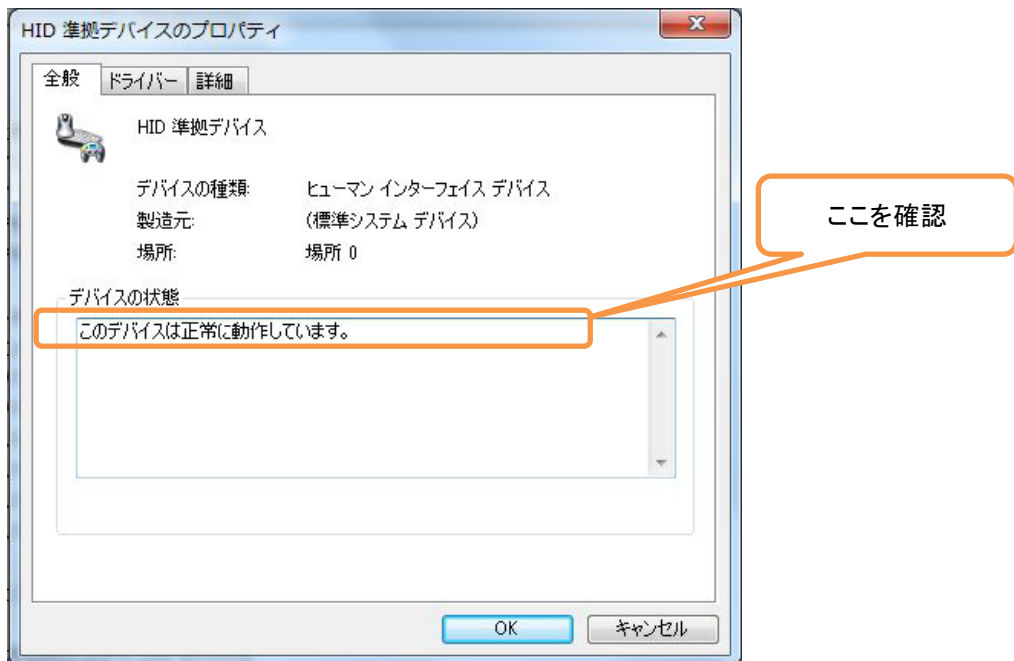
もし、「ハードウェア ID」に「VID\_04C5&PID\_1556」の文言が含まれていれば、次へ進みます。含まれていなければ、(4)に戻り、別の「HID準拠デバイス」を右クリックし、確認を続行します。すべての「HID準拠デバイス」を確認しても上記文言が見つからない場合は、リーダーライタのUSBケーブルをPCの別のUSBポートに挿して、同様に確認してください。それでも見つからない場合は、PC又はリーダーライタのどちらかのハードウェアが異常ですので、交換してください。



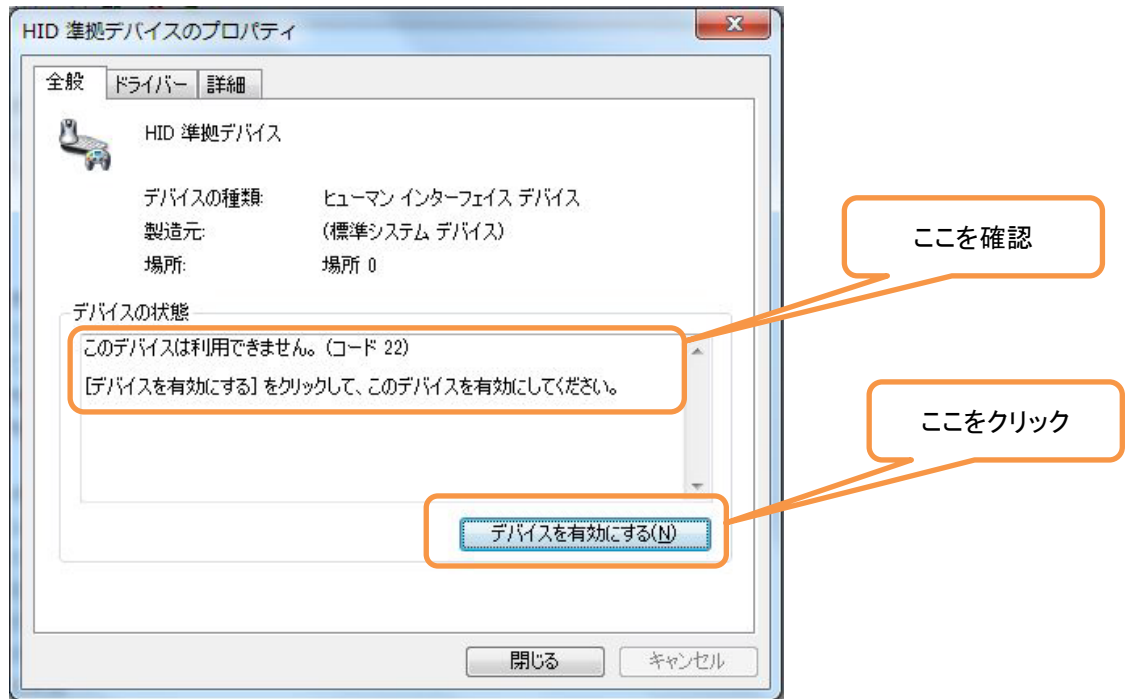
(9) 「全般」 タグをクリックします。



(10) 「デバイスの状態」が「このデバイスは正常に動作しています。」となっているか確認します。なっていれば、「3. ドライバのインストール」へ進んでください。なっていなければ、次へ進んでください。



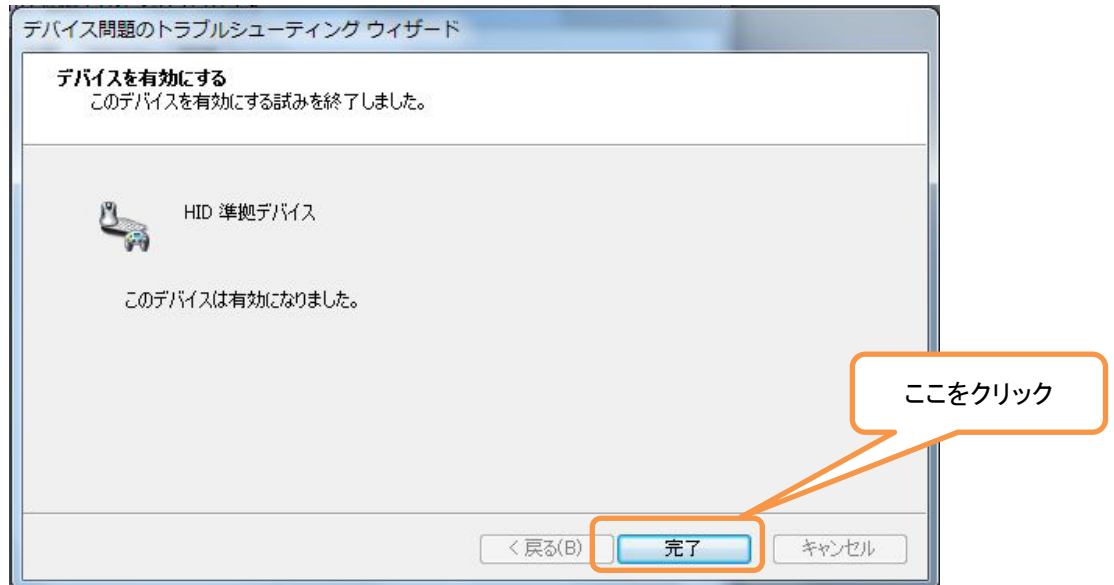
- (11) もし、「デバイスの状態」が、以下のような文言となっていた場合は、「デバイスを有効にする」をクリックしてください。それ以外の文言の場合は、PC 又はリーダライタが異常ですので、交換し、インストールを最初からやり直してください。



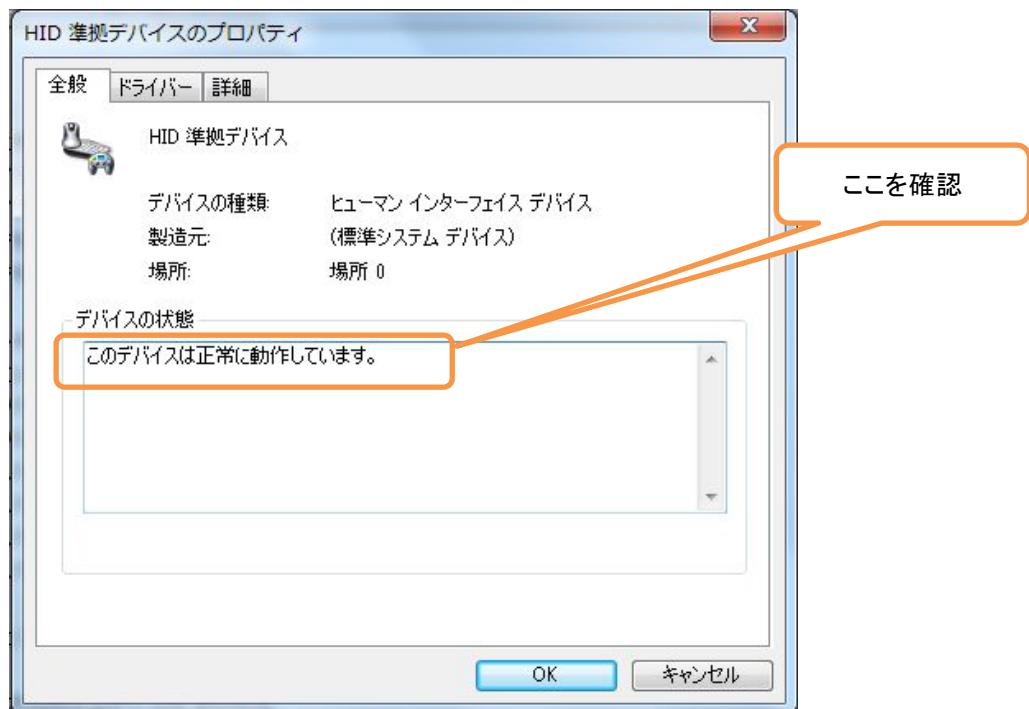
- (12) 以下画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



(13) 以下画面が出たら、「完了」をクリックします。



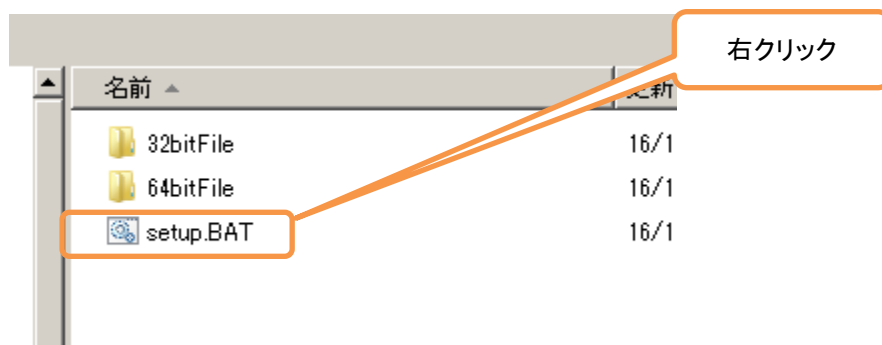
(14) デバイスの状態が「このデバイスは正常に動作しています。」となっていることを確認します。そうでなければ、PC 又はリーダーライターが異常ですので、交換し、インストールを最初からやり直してください。



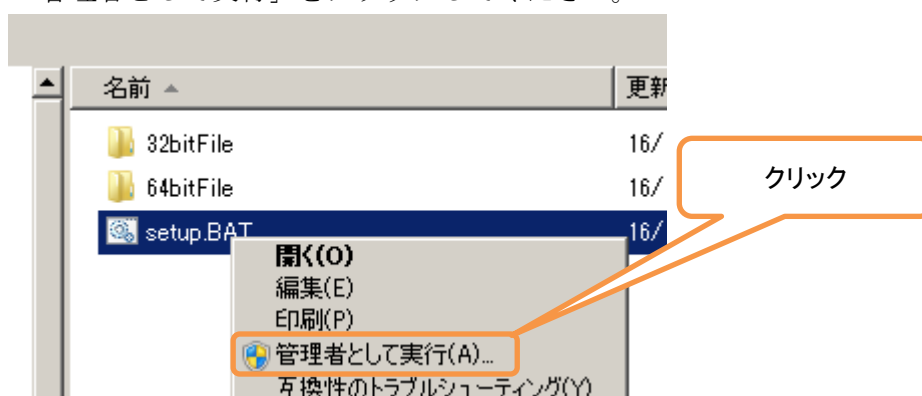
### 3. ドライバインストール

インストールについて説明します。

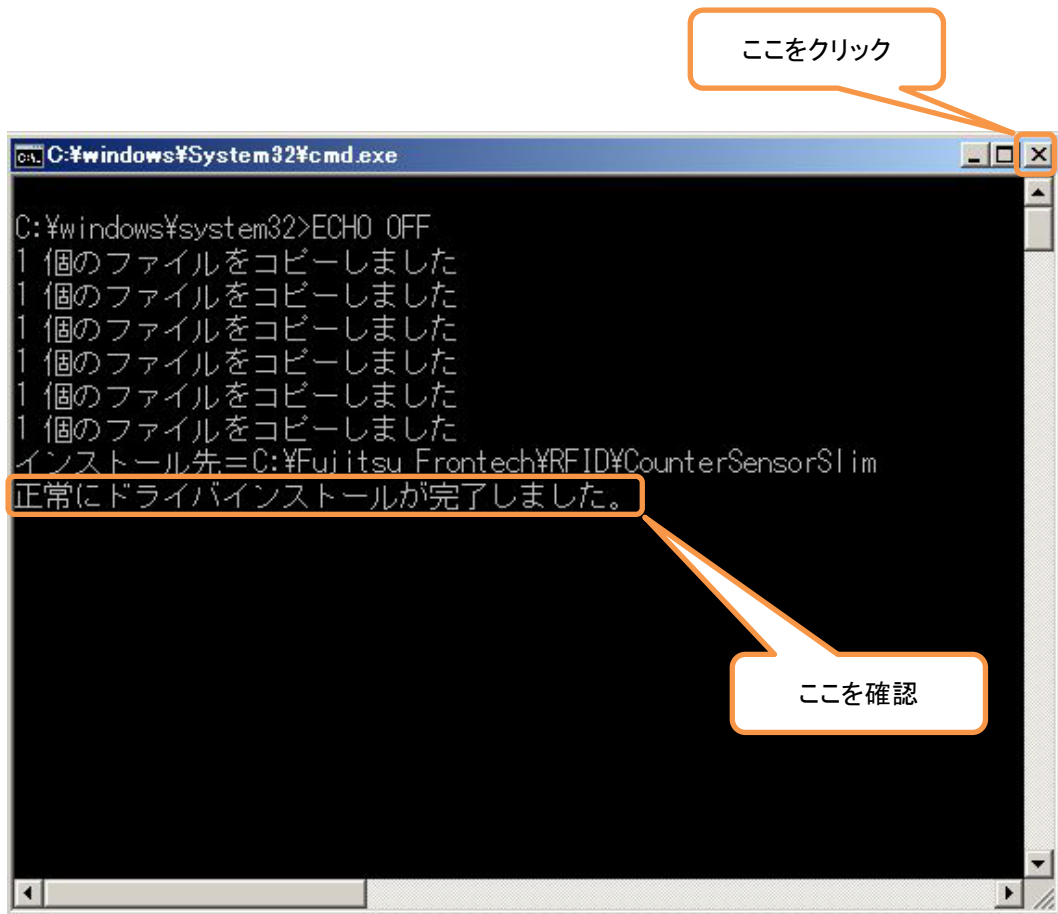
- (1) 管理者権限でログイン後、任意のフォルダにてドライバファイルを解凍してください。また、すべてのアプリケーション及びウィンドウを閉じてください。
- (2) Windows エクスプローラーにて、解凍したフォルダの「setup.BAT」を右クリックしてください。



- (3) 「管理者として実行」をクリックしてください。



- (4) コマンドプロンプト画面が出て、インストールが実行されます。以下のように「正常にドライバインストールが完了しました。」と表示されていれば、ドライバインストールは完了です。「X」を押してコマンドプロンプト画面を閉じます。



※エラーメッセージ一覧

| No. | メッセージ内容                                                                          | 原因/対処                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1   | 管理者権限で無いため、ドライバをインストールできませんでした。<br>「setup.bat」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックして起動してください。 | 「setup.BAT」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックして起動してください。    |
| 2   | 共有違反です。<br>ドライバファイルコピーに失敗しました。<br>ドライバをインストールできませんでした。                           | ドライバファイルが使用中です。他のアプリケーションをすべて閉じて、再度インストールしてください。 |

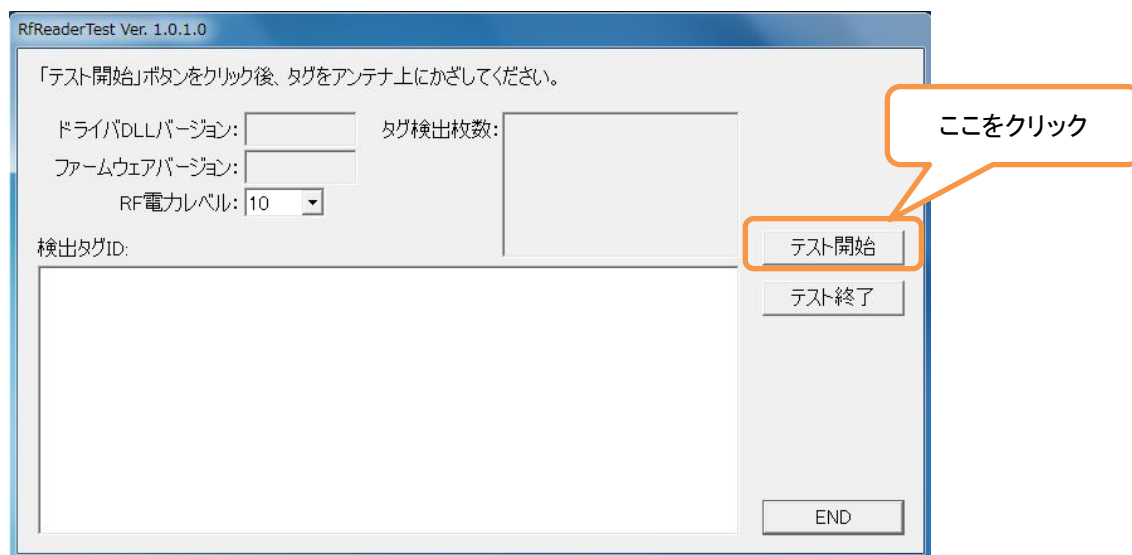
#### 4. ドライバインストール後の動作確認

(1) Windows エクスプローラーにて以下のプログラムを実行します。

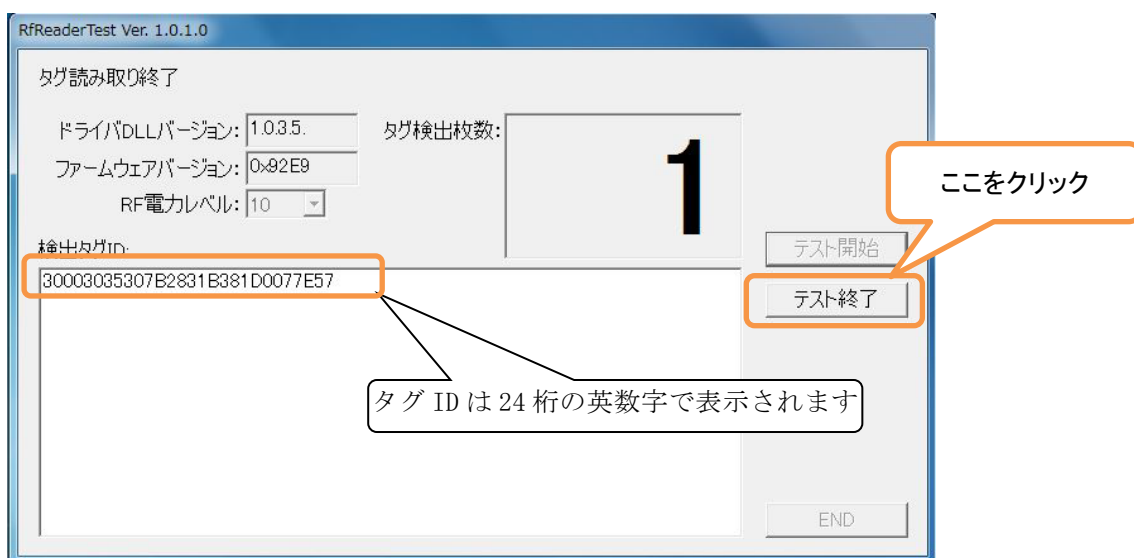
C:\¥Fujitsu Frontech¥RFID¥CounterSensorSlim¥RfReaderTest.exe

注) エクスプローラーの設定により、ファイル拡張子である「.exe」部分が表示されない場合があります。

(2) 以下の画面が表示されたら、「テスト開始」ボタンをクリックします。



(3) アンテナから 10cm 程離れた場所にタグをかざすと、画面の「タグ検出枚数」と「検出タグ ID」欄に、検出したタグ枚数とタグ ID が表示されます。タグ枚数とタグ ID が表示されることを確認したら、「テスト終了」ボタンをクリックします。



- (4) インストールする PC の OS が 32bit 版の場合、次の(5)へ進みます。インストールする PC の OS が 64bit 版の場合、64bit 版ドライバが正常にインストールされているか確認するため、以下のプログラムを実行し、(2)へ戻ります。すでに以下プログラムを実行/テスト済の場合は、次の(5)へ進みます。

C:\¥Fujitsu Frontech¥RFID¥CounterSensorSlim64¥RfReaderTest.exe

注) インストールする PC が 32bit 版か 64bit 版か判別する方法は、「1. はじめに」の「(3) その他の注意事項」の 8) を参照ください。

- (5) 以上で動作確認は終了です。ドライバは正常にインストールされ、ハードウェアは正常です。「END」ボタンをクリックして、ツールを終了させてください。

※エラーメッセージ一覧

| No. | メッセージ内容                       | 原因/対処                                                                                                   |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | リーダライタ未接続エラー～                 | 1) リーダライタが PC に接続されていません。リーダライタの USB ケーブルを、PC の USB コネクタに接続してください。<br>2) リーダライタが壊れています。リーダライタを交換してください。 |
| 2   | リーダライタドライバが正常にインストールされていません。～ | リーダライタドライバが正常にインストールされていません。<br>ドライバのインストールをやり直してください。                                                  |
| 3   | ～エラー～                         | リーダライタが壊れています。リーダライタを交換してください。                                                                          |

## 5. その他

- (1) ログファイルについて

弊社担当者よりトラブル調査用としてログファイルの送付を依頼された場合は、以下の 1) 及び 2) のフォルダのうち、存在するフォルダの下の「\*\_Log.LOG」(\*は任意のファイル名)の形式のファイルをすべて送ってください。

1) C:\¥Fujitsu Frontech¥RFID¥CounterSensorSlim

2) C:\¥Fujitsu Frontech¥RFID¥CounterSensorSlim64

注 1) 両方のフォルダがある場合は、両方のフォルダ下のログファイルをすべて送ってください。(64bit 版 OS の場合、フォルダが両方存在します。)

注 2) ファイルサイズが大きいので、可能であれば圧縮して送ってください。

~~~~~ END ~~~~~